北海道大学
大学院情報科学研究科

No.53 SPRING 2018

IST NEWS

第53号（平成30年 春）

新しい大学院生に贈る言葉

研究科長　北　裕幸

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

この春、北海道大学大学院情報科学研究科は、修士課程216名、博士後期課程35名の合計251名を新入生として迎えました。

本研究科は、2004年４月に国立大学の法人化と同時に設立され、この４月より創立15年目を迎えます。北海道大学の中では比較的新しい大学院ですが、その起源を辿れば、1924年に北海道帝国大学に設置された工学部電気工学科が母体となっていますので、実質的には100年近くの歴史を持った、伝統のある大学院と言えるのかも知れません。

さて、新入生の皆さんは、これから大学院と言う教育課程の中で主に研究活動を通して修士あるいは博士の学位を取得すべく努力されるわけですが、その際、是非、次の３つの点を念頭において、これからの大学院生活を過ごしていただきたいと思っています。

第一に、狭い専門領域に入り込むことなく広い視野を持って臨んでいただきたいということです。学部から修士課程、博士課程へと進むにしたがって、一般的には、より専門的な内容を深く学ぶことが必要になります。しかし、実社会で求められるのは、そうしたスペシャリストとしての専門の深い知識と同時に、専門とは異なる分野との融合も柔軟に行えるジェネラリストとしての幅広い知識、そして俯瞰的視野を持つ人材です。進化論の提唱者ダーウィンの言葉に、「強い者、賢い者が生き残るのではなくて、変化に対応できた者が生き残る」と言う言葉があります。様々な変化に柔軟に対応できるような能力を身につけていただきたいと思います。

そこで本研究科では“双峰型教育”というユニークな教育システムを取り入れています。これは自身が所属する専攻（これを主専修と言いますが）でその専門分野の知識や技術を深く学ぶと同時に、もう一つの専攻を副専修として自由に選択し、主専修とは異なる分野の知識も学ぶというものです。既存の学問領域に異分野の領域を融合させることによって、それぞれの領域の限界や応用分野を広げ、思いもよらない新しい価値やイノベーションが生み出される可能性があります。皆さんには積極的に他分野と融合し協調することで、それぞれの専門領域に新しい息吹をもたらしていただきたいと願っています。

第二は、産業界とのつながりを意識していただきたいということです。大学での研究は、特に工学系の場合、決して大学の中だけで完結するものではありません。その研究の成果は産業界で活用されて初めて光り輝くものなのです。学部の頃は、講義や実験で学んでいることが社会とどのように繋がっているかを具体的にイメージしづらかったため、どちらかと言えば受け身の姿勢で講義を聞いていたという人も多いのではないでしょうか。しかし、学んだことが実社会でどのように使われ、どのように役立っているのかを知れば、研究の基礎になっている理論や原理をもっと深く学ぼうという意欲が出てきますし、コストや時間など様々な制約の下で課題解決をしなければならないという工学の本当の難しさを理解できると思います。

そこで本研究科でも、企業との共同研究等を通して実践応用する機会を積極的に作り出すように工夫しています。具体的には、課題解決型の授業である「プロジェクトマネジメント関連講義」による実践的学修、連携講座による企業・研究所等との実学性を重視した協働教育などを組織的に支援する体制を整備しています。また、各研究室においても様々な企業との共同研究を実施していますので、そうした研究に参画することを通して産業界と関わることも可能です。是非、産学共同研究の実際を体験していただければと思います。

第三に、これはあえて言うまでもないことなのですが、是非とも国際的な視点で研究活動を進めていただきたいということです。どんなに優れた研究であって

研究科長挨拶

[左列] ５専攻長、[右列])両副研究科長、工学系事務部長

（本記事は、４月２日に挙行された情報科学研究科入学式での研究科長挨拶に基づき、新規に書き下ろしたものです。）

も、どんなに独創的な研究であっても、その成果を発表する場を日本国内だけにとどめていたのでは、その価値は半減してしまいます。世界には自分と同じような研究をしている人が大勢いるのだということを肝に銘じていただきたいと思います。従って、優れた研究、オリジナリティの高い研究であればなおのこと、国際的な場で発表し、世界中の研究者からその研究の価値を評価してもらうことが必要です。博士課程の学生さんはもちろんですが、修士課程の学生さんも在学中に１度は国際会議で発表することを目標としていただきたいと思います。そして、その機会に是非とも外国における研究の進め方を見、外国人研究者の考え方を理解し、国際的な広い視野を持つように経験をしてもらえればと思います。

以上、３つの点を申し上げました。２年間、３年間と言うのは長いようですが、あっという間に過ぎてしまいます。ぼんやりしていると何も得られなかったということになりかねません。学位授与式の時には、皆さん方一人一人が充実感、達成感に満ち溢れて学位記を受け取ることができることを心より願っています。

以上で私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

産業技術フォーラム2018を開催しました

３月1日（木）から３月７日（水）までの平日５日間にわたり、情報科学研究科棟２階会場において「産業技術フォーラム2018」を開催しました。14回目を迎える今回のフォーラムには幅広い分野から134社の参加があり、開催期間中の延べ参加学生数は2020名となりました。また、開催期間中は悪天候にも関わらず、無事すべてのプログラムを終えることができました。

各社15分間の講演会とそれに引き続いて35分間の交流会が行われ、入社後活躍できる場の説明や、研究内容や技術開発などにおける現場の様子、技術者・研究開発者として働くことの楽しさや厳しさ、やりがいなどの経験談など、参加学生は多くの貴重な情報を得ることができました。今回は２階オープンスペースに企業と学生との面談スペースとしてブースを設置し、講演会や交流会に参加出来なかった学生や、関心の強い学生が各企業のブースを訪れていました。このフォーラムを通じ、学生は職業意識を更に高め、自らの将来の進路をしっかりと考えることができました。

（進学・就職支援室長　教授　金子 俊一）

平成29年度北海道大学情報科学研究科「研究科長賞」授与式挙行

情報科学研究科では、研究科学生への顕彰制度として北海道大学情報科学研究科「研究科長賞」を設けています。

第６回となる研究科長賞の授賞式は３月22日(木)情報科学研究科棟５階中会議室にて開催され、宮永前情報科学研究科長により研究科長賞が授与されました。

この度の「研究科長賞」授与者は、修士課程５名、博士後期課程５名でした。

【研究科長賞】

情報理工学専攻修士課程	野　口　　渉
情報エレクトロニクス専攻修士課程	安　藤　洸　太
生命人間情報科学専攻修士課程	高　倉　稜　平
メディアネットワーク専攻修士課程	佐　坂　勇　磨
システム情報科学専攻修士課程	宮　尾　亮　介
情報理工学専攻博士後期課程	中　村　将　成
情報エレクトロニクス専攻博士後期課程	後　藤　優　太
生命人間情報科学専攻博士後期課程	郭　　景　春
メディアネットワーク専攻博士後期課程	佐　藤　孝　憲
システム情報科学専攻博士後期課程	土　谷　圭　央

平成30年度大学院入学者数

平成30年度北海道大学大学院情報科学研究科専攻別入学者数は次の表のとおりです。

平成30年度専攻別入学者数

専　攻	定員	入学者数
情報理工学	48	62　[6]
	12	7　[1]
情報エレクトロニクス	39	49　[6]
	8	7　[1]
生命人間情報科学	33	36　[2]
	6	3　[2] ①
メディアネットワーク	30	38　[4]
	8	8　[3] ④
システム情報科学	27	31　[3]
	8	10　[2] ⑤
計	177	216　[21]
	42	35　[9] ⑩

・上段：修士課程、下段：博士後期課程
・[　]：留学生（内数）
・丸囲み数字：社会人入試（内数）

平成30年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●専攻長・副専攻長

専攻等	専攻長 （任期：１年）	副専攻長 （任期：１年）
情報理工学専攻	田中　章	吉岡真治
複合情報学専攻	栗原正仁	山本雅人
コンピュータサイエンス専攻	工藤峰一	田中　章
情報エレクトロニクス専攻	浅井哲也	本村真人
生命人間情報科学専攻	橋本　守	舘野　高
メディアネットワーク専攻	大鐘武雄	坂本雄児
システム情報科学専攻	小笠原悟司	金子俊一

●運営会議等

専攻等	運営会議 （任期なし）	専攻長会議 （職指定）	コース長会議 （職指定）
研究科長（副工学部長）	北　裕幸	北　裕幸	北　裕幸
副研究科長	長谷山美紀 末岡和久	長谷山美紀 末岡和久	長谷山美紀 末岡和久
学科長			浅井哲也
副学科長			平田　拓
情報理工学専攻		田中　章 吉岡真治	田中　章 吉岡真治
複合情報学専攻		栗原正仁 山本雅人	栗原正仁 山本雅人
コンピュータサイエンス専攻		工藤峰一 （田中　章）	工藤峰一 （田中　章）
情報エレクトロニクス専攻		浅井哲也 本村真人	（浅井哲也） 本村真人
生命人間情報科学専攻		橋本　守 舘野　高	橋本　守 舘野　高
メディアネットワーク専攻		大鐘武雄 坂本雄児	大鐘武雄 坂本雄児
システム情報科学専攻		小笠原悟司 金子俊一	小笠原悟司 金子俊一
事務部長	勝山憲明		

平成30年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●常置委員会　　**○委員長**

専攻等	将来構想委員会 （職指定）	評価委員会 （任期：１年）	学務委員会 （任期：２年）	学術委員会 （任期：２年）
研究科長	○北　裕幸	○北　裕幸		
副研究科長	長谷山　美紀 末岡　和久	長谷山　美紀 末岡　和久	○末岡　和久	○長谷山　美紀
情報理工学専攻	田中　章 吉岡　真治	山本　雅人	今井　英幸	飯塚　博幸
複合情報学専攻			川村　秀憲	
コンピュータサイエンス専攻			（今井　英幸）	
情報エレクトロニクス専攻	浅井　哲也 本村　真人	高橋　庸夫	植村　哲也	本久　順一
生命人間情報科学専攻	橋本　守 舘野　高	渡邉　日出海	遠藤　俊徳	橋本　守
メディアネットワーク専攻	大鐘　武雄 坂本　雄児	荒木　健治	齊藤　晋聖	宮永　喜一
システム情報科学専攻	小笠原　悟司 金子　俊一	金井　理	山下　裕	近野　敦
教育企画室			（山下　裕）	末岡　和久
研究企画室				（近野　敦）
事務部長	勝山　憲明	勝山　憲明		
事務課長	佐々木　好美		佐々木　好美	佐々木　好美

平成30年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●室　　○室長

専攻等	研究企画室（任期：２年）	教育企画室（任期：２年）	広報・情報室（任期：２年）	進学・就職支援室（任期：１年）	ＦＤ推進室（任期：２年）	国際交流推進室（任期：２年）	安全衛生管理室（任期：２年）
研究科長							
副研究科長	○長谷山　美　紀	○末　岡　和　久	○長谷山　美　紀		○長谷山　美　紀 末　岡　和　久	○末　岡　和　久 長谷山　美　紀	
情報理工学専攻	山　下　倫　央	工　藤　峰　一	河　口　万由香	有　村　博　紀	瀧　川　一　学	山　下　倫　央 工　藤　峰　一	
複合情報学専攻	（山　下　倫　央）	小　野　哲　雄					
コンピュータサイエンス専攻	今　井　英　幸	（工　藤　峰　一）					
情報エレクトロニクス専攻	富　田　章　久	高前田　伸　也	村　山　明　宏	末　岡　和　久	有　田　正　志	富　田　章　久 高前田　伸　也	
生命人間情報科学専攻	岡　嶋　孝　治	小　柳　香奈子	西　川　　淳	舘　野　　高	工　藤　信　樹	岡　嶋　孝　治 小　柳　香奈子	長　田　直　樹
メディアネットワーク専攻	伊　藤　敏　彦	齊　藤　晋　聖	筒　井　　弘	長谷山　美　紀	山　本　　学	齊　藤　晋　聖 伊　藤　敏　彦	西　村　寿　彦
システム情報科学専攻	近　野　　敦	山　下　　裕	田　中　文　基	○金　子　俊　一	小野里　雅　彦	近　野　　敦 山　下　　裕	
事務課長	佐々木　好　美	佐々木　好　美	佐々木　好　美	佐々木　好　美	佐々木　好　美	佐々木　好　美	佐々木　好　美

●工学部委員会委員情報エレクトロニクス学科

所　　属	コース長 （任期：１年）	教務委員会 （任期：１年）	学生委員会 （任期：１年）	入試委員会 （任期：１年）	評価委員会 （任期：１年）
副工学部長	北　裕幸				北　裕幸
全学教務委員会	末岡和久	末岡和久	末岡和久	末岡和久	末岡和久
情報理工学コース	田中　章	吉岡真治	有村博紀	田中　章	山本雅人
情報工学コース	栗原正仁				
コンピュータサイエンスコース	工藤峰一				
電気電子工学コース	浅井哲也	冨岡克広	冨岡克広	浅井哲也	髙橋庸夫
生体情報コース	橋本　守	工藤信樹	松元慎吾	橋本　守	渡邉日出海
メディアネットワークコース	大鐘武雄	西村寿彦	小川貴弘	大鐘武雄	荒木健治
電気制御システムコース	小笠原悟司	野口　聡	金子俊一	小笠原悟司	金井　理

●工学部広報室

情報エレクトロニクス学科 （任期：２年）	坂本大介	菅原広剛	西川　淳
	西村寿彦	小林孝一	

●工学部　学科長・副学科長

学科	学科長 （任期：１年）	副学科長 （任期：１年）
情報エレクトロニクス学科	浅井哲也	平田　拓

●工学部将来構想委員会委員（情報科学研究科分）

副工学部長	北　裕幸
全学教務委員会委員（情）	末岡和久
学科長 （任期：１年）	浅井哲也

●全学教育「情報学」科目企画責任者

科目企画責任者 （任期：２年）	杉本雅則

【人事異動】

[教授]

（任期）平成30年４月１日～平成32年３月31日	
北　　裕　幸	研究科長
長谷山　美　紀	副研究科長(総務・研究担当)
末　岡　和　久	副研究科長(教育担当)
（辞職）平成30年３月31日	
湊　　真　一	情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座
（昇任）平成30年４月１日	
池　辺　将　之	情報エレクトロニクス専攻 （協）量子情報エレクトロニクス講座 （同専攻集積システム講座准教授より）

[准教授]

（新規）平成30年４月１日	
平　井　健　二	生命人間情報科学専攻 (協)先端生命機能工学講座
榎　木　亮　介	生命人間情報科学専攻 (協)先端生命機能工学講座

[助教]

（採用）平成30年４月１日	
CHO, Hai Jun	情報エレクトロニクス専攻 （協）量子情報エレクトロニクス講座

[特任教授]

（任期満了退職）平成30年３月31日	
佐　野　栄　一	情報エレクトロニクス専攻 （協）量子情報エレクトロニクス講座
（採用）平成30年４月１日	
原　口　　誠	情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座
山　本　　強	メディアネットワーク専攻 情報メディア学講座

[特任助教]

（辞職）平成30年３月31日	
猪　村　　元	情報理工学専攻 共同プロジェクト拠点
日　下　　聖	システム情報科学専攻 システム創成学講座
石　畠　正　和	情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座
田　中　英　一	システム情報科学専攻 システム融合学講座
（採用）平成30年４月１日	
原　川　良　介	メディアネットワーク専攻 情報メディア学講座

[客員教授]

（任期満了退職）平成30年３月31日	
眞　鍋　哲　也	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
平　松　　薫	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
納　谷　　太	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
（採用）平成30年４月１日	
古敷谷　優　介	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
川　西　隆　仁	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
藤　野　昭　典	メディアネットワーク専攻 （連）ユビキタスネットワーク学講座
（称号変更）平成30年６月１日	
多　田　充　徳	システム情報学専攻 デジタルヒューマン情報学講座 （同講座客員准教授より）
宮　田　なつき	システム情報学専攻 デジタルヒューマン情報学講座 （同講座客員准教授より）

[事務職員等]

（昇任・転出）平成30年３月31日	
田　代　陽　子	情報科学研究科事務課(教務担当)主任 (国際部国際交流課(サマーインスティテュート担当)係長へ)
（転出）平成30年３月31日	
山　羽　好　幸	情報科学研究科事務課(総務担当)係長 (メディア・観光学事務部(総務担当)係長へ)
大　橋　千　怜	情報科学研究科事務課(会計担当) (総務企画部人事課(文部科学省行政実務研修)へ)
（昇任・転入）平成30年４月１日	
瀧　川　　翼	情報科学研究科事務課(総務担当)係長 (研究推進部研究振興企画課(総務担当)主任より)
（転入）平成30年４月１日	
芳　岡　英　美	情報科学研究科事務課(教務担当) (文学研究科・文学部(教務担当)主任より)
柚　木　静　香	情報科学研究科事務課(会計担当) (財務部調達課(物品契約担当)より)

[技術職員]

（昇任）平成30年４月１日	
高　山　純　一	技術専門職員 （工学系技術センター技術部技術職員より）
久　保　吉　史	技術専門職員 （工学系技術センター技術部技術職員より）
今　井　　適	技術専門職員 （工学系技術センター技術部技術職員より）

【受賞等】

[教員]

2018年２月20日	川村　秀憲
情報理工学専攻複合情報工学講座教授	
北海道 平成29年度北海道科学技術奨励賞 「地域課題解決に資する人工知能技術の研究開発」	

[学生]

2017年１月14日	高橋　宏徳
工学部情報エレクトロニクス学科電気電子工学コースB4	
一般社団法人電気学会北海道支部 電気学会北海道支部発表賞「単電子追跡によるX点プラズマ容器側壁上部近傍エネルギー利得機構の解析」	
2017年５月22日	松永　悠斗
工学部情報エレクトロニクス学科メディアネットワークコースB4	
一般社団法人電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 EMM研究会学生研究賞「楽曲の特徴や歪みエフェクトを活用した電子透かし技術の提案」	
2017年９月２日	西村　亮
情報理工学専攻複合情報工学講座M2	
公益社団法人精密工学会 北海道支部優秀プレゼンテーション賞「CVAEとBEGANを組み合わせたラベル付き画像生成モデルの提案」	
2017年９月14日	水丸　和樹
工学部情報エレクトロニクス学科情報理工学コースB4	
日本IBM IBMメインフレーム・コンテスト2017最優秀賞「コンテストで解いた課題についてプログラムの品質が評価され、全国の参加学生284名の中から上位３名の最優秀賞に選出」	
2017年11月24日	清水　新平
情報エレクトロニクス専攻先端エレクトロニクス講座M2	
International Workshop on Holography and Related Technologies 2017 (IWH2017) Best Student Award「Optimization of Volume Holographic Spatial Mode Demultiplexer with a Phase Plate Using Simulated Annealing（位相板を付加した体積ホログラム型空間モード分離器の焼きなまし法による最適化）」	

2017年12月８日	千葉　康平
情報エレクトロニクス専攻（協）集積システム講座M2	
Material Research Society　MRS fall meeting 2017 Symposium Best Poster Award 「Vertical InGaAs Nanowire Photodiode Array on Si (Si基板上の縦型InGaAsナノワイヤフォトダイオードアレイの作製)」	
2017年12月12日	以下の賞を２名が受賞
HAIシンポジウム2017	
Impressive Poster Award (優秀ポスター発表賞)	大西　紗綾
	情報理工学専攻複合情報工学講座M1
	ぬいぐるみロボットを用いた休憩タイミング提示システムの提案
Outstanding Research Award (優秀論文賞)	水丸　和樹
	工学部情報エレクトロニクス学科情報理工学コースB4
	複数ロボットの発話の重なりによって創発する空間の知覚
2017年12月12日	平松　正太
情報エレクトロニクス専攻（協）量子情報エレクトロニクス講座M2	
一般社団法人映像情報メディア学会　学生優秀発表賞「CMOSテラヘルツイメージング用オンチップアンテナの小型化」	
2017年12月14日	高橋 泰伽[1)]、根本 知己[2)]
１)生命人間情報科学専攻（協）先端生命機能工学講座M1、２）同講座教授	
International Symposium of Nanomedicine (ISNM2017) The Best Poster Award 「*in vivo *two-photon imaging of living mouse brain by utilizing novel fluoropolymer PEO-CYTOP nanosheets (新規PEC-CYTOPナノシートを用いたマウス生体脳のin vivo ２光子イメージング)」	
2017年12月16日	後藤 亜衣[1)]、大友 康平[2)]、根本 知己[3)]
１）生命人間情報科学専攻（協）先端生命機能工学講座M1、２）同講座助教、３）同講座教授	
公益社団法人日本顕微鏡学会 北海道支部会　優秀ポスター賞 「多点走査型2光子顕微鏡による生体組織の高速SHGイメージング」	
2017年12月23日	奥田 悠斗[1)]、小水内 俊介[2)]、近野 敦[3)]
１）システム情報科学専攻システム融合学講座M １、２）同講座助教、３）同講座教授	
公益財団法人計測自動制御学会 システムインテグレーション部門　SI2017 優秀講演賞 「提示力偏向機構を用いた携帯型 6 自由度力覚提示装置の開発」	
2018年１月２日	蓑田　玲緒奈
情報理工学専攻知識ソフトウェア科学講座D3	
The 11th International Conference on Mobile Ubiquitous Computing, Systems, Services and Technologies (UBICOMM 2017) Best Paper Award「Probabilistic CCRN: Reliability Analysis of Ubiquitous Computing Scenarios Using Probabilistic Model Checking (確率モデル検査を用いたユビキタスコンピューティングシナリオの信頼性解析)」	
2018年１月15日	林　志超
情報エレクトロニクス専攻先端エレクトロニクス講座D2	
公益社団法人応用物理学会 北海道支部　第21回応用物理学会北海道支部発表奨励賞 「Electrical spin-echo measurements in a spin injection device (スピン注入素子におけるスピンエコー信号の観測)」	
2018年１月25日	大友　佳嗣
システム情報科学専攻システム融合学講座M1	
一般社団法人電気学会　優秀論文発表A賞 「均質化法を用いたリッツ線の３次元有限要素解析」	
2018年２月１日	山本　達平
情報エレクトロニクス専攻集積システム講座M2	
一般社団法人電気学会　電気学会優秀論文発表賞 「向発散磁界下誘導結合型プラズマ中共鳴磁界域近傍のエネルギー利得単電子運動解析」	
2018年２月９日	山本　達平
情報エレクトロニクス専攻集積システム講座M2	
IEEE Sapporo Section(IEEE札幌支部)　2017 IEEE Sapporo Section Student Paper Contest Encouraging Prize 「対向発散磁界下誘導結合型プラズマ中共鳴磁界域近傍のエネルギー利得単電子運動解析」	
2018年３月１日	蓑田　玲緒奈[1)]、湊　真一[2)]
１）情報理工学専攻知識ソフトウェア科学講座D3、２）同講座教授	
一般社団法人電子情報通信学会　学生論文特集秀逸論文 「記号モデル検査によるスマートオブジェクトの近接連携シナリオの効率的な検証」	
2018年３月15日	高橋　翔哉
工学部情報エレクトロニクス学科情報理工学コースB4	
一般社団法人情報処理学会　第80回全国大会学生奨励賞 「ZDDを用いた集合分割の族の表現法」	
2018年３月22日	佐藤　孝憲
メディアネットワーク専攻情報通信システム学講座D2	
一般社団法人電子情報通信学会 北海道支部　平成29年度北海道支部学生奨励賞 「成績優秀でかつ電子・情報・通信の分野で活躍を期待できる」	

※職名・学年・所属は受賞時

新教員紹介

１．最終学歴および学位、２．前職、３．専門分野

平井　健二　准教授

生命人間情報科学専攻　先端生命機能工学講座（協）

1. 平成25年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）
2. 北海道大学大学院理学研究院　特任助教
3. ナノマテリアル、集積型金属錯体

榎木　亮介　准教授

生命人間情報科学専攻　先端生命機能工学講座（協）

1. 平成14年東京薬科大学大学院 生命科学研究科 博士課程短期修了、博士（生命科学）
2. 北海道大学医学部　助教
3. 神経生理学、時間生物学、光イメージング

CHO, Hai Jun　助教

情報エレクトロニクス専攻
量子情報エレクトロニクス講座（協）

1. 平成30年トロント大学博士後期課程修了、Ph.D.（材料科学）
2. トロント大学博士後期課程学生
3. 材料科学、熱伝導・界面熱抵抗

原川　良介　特任助教

メディアネットワーク専攻情報メディア学講座

1. 平成28年北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了、博士（情報科学）
2. 日本学術振興会特別研究員、北海道大学大学院情報科学研究科学術研究員
3. マルチメディア信号処理、Webマイニング

IST NEWS No.53　平成30年７月６日発行

発行：北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室

情報科学研究科ホームページ
http://www.ist.hokudai.ac.jp/